

元培科技大学(台湾)国際交流サマースクール

報告書

2015 Yuanpei University of Medical Technology Summer School of Chinese Culture Learning & Healthcare Industry Site Visit

医療科学部 放射線技術学科 1回生 松田 恵里香



台湾での一週間は、新鮮な事ばかりだった。

まず、台湾の学生との交流である。私は海外に行った経験がなく、外国人と交流したことがほとんどなかった。そのため、あまり言葉が通じない中で、はじめどのようにコミュニケーションをとればいいのかわからなかった。

しかしその後、台湾の学生がくまモンが描かれたTシャツを着ていることに気がついた。英単語とジェスチャーでそのことを表現すると、伝えることが出来た。そして、「くまモン

は台湾で人気だよ」などの返事を理解できた時、言葉が通じたことに喜びを感じた。同時に、思ったことが英語で話すことが出来ないもどかしさを何度も感じた。ジェスチャーや英単語である程度の会話はできる。だが、より深い交流には言語力も大事だと学んだ。



次に印象的な出来事は、トイレについてである。日本ではトイレットペーパーはトイレに流すが、海外ではごみ箱に捨てなければならない。しかし、日本の習慣に慣れているため、何度か間違えてしまいそうになった。

この時、日本のトイレの注意書きで、使用方法を文字だけではなくイラストも描かれている事を思い出した。文字だけでは、読むことができなかつたり読む時間がかかるが、イラストだと一目見ただけで書いてあることが理解できる。このような工夫が、誰にとっても快適な環境づくりにつながるのだと体感した。



この研修を通じて、自分の考え方が変化した。台湾人、日本人という意識ではなく、同じヒトだという意識をもつことができていた。